

海上の森自然観察会

テーマ 夏鳥をさがそう

日時 2014年5月17日(土)10:00~15:00(晴)

参加者 一般:8名(子ども0) 指導員:7名

アウトドア活動に適したさわやかな季節とあって、海上の森の駐車場付近はハイキングなどを楽しむグループで賑わっていました。

今回のテーマは夏鳥ですが、この時期ならではのジャケツイバラの花も見ようということで物見山に向かいました。

道端ではツクバネウツギやシライトソウの花が咲き、流れの近くではカワトンボが舞い、木々の上からは「焼酎一杯グイーツ」というセンダイムシクイの鳴き声が流れてきます。

この時期には満開のタニウツギやヤブデマリは今回既に盛りを過ぎている一方、エゴノキはまだほとんど開花していないなど、例年と花の時期が少しずれているように感じられるものもありました。奇妙な形をしたタンザワウマノスズクサ(オオバウマノスズクサの変種)の花が途中何か所かで見られましたが、森の中ではたくさんの花をつけた株を見つけ、参加者一同感激しました。さらに進むと、ハクウンボクの花が咲いていました。エゴノキに似た白い花がかたまっています、今年は花の数はそれ程多くありませんでした。

ここまでくるうちにキビタキ、サンショウクイなどの夏鳥の声が聞かれましたが、望遠レンズを付けたカメラを構えた人たちの近くで、運よくサンコウチョウの声を聞くことができました。

3月に産まれたヒキガエルの卵はオタマジャクシに成長し、水たまりの中にかたまっています。来月には小さなカエルになって森に移動しているものと思われます。

物見山の展望台で昼食をとっているとき、周りをモンキアゲハやアオバセセリが飛び回っていました。

山頂近くの林道では何か所かでジャケツイバラの黄色い花が眺められました。花の時期には存在が目立ちますが、花の時期を過ぎるとどこにあるか気づきにくい植物です。ジャケツイバラを眺めていた時、すぐ近くにきれいなブルーの羽を持つオオルリのオスが姿を見せてくれました。

林道を下り、久しぶりに満水状態の瀬戸大正池に立ち寄り、海上の里のサテライトで休憩して、花・虫・鳥など見るものいっぱいの観察会を終えました。(報告: 齋竹善行)

【その他観察できたもの】 鳥: ホオジロ、ウグイス(声)、ハシブトガラス、カルガモ、コゲラ、ヒヨドリ、メジロ、ハシボソガラス、ツバメ、ホトトギス(声)、カワセミ、 昆虫: ニホンカワトンボ、ユウマダラエダシャク、ヤマサナエ、ヒメウラナミジャノメ、アサヒナカワトンボ、ナガサキアゲハ、コムスジ、アオスジアゲハ、ヨコヅナサシガメ、ダイミョウセセリ、クロマルハナバチ、クロハネシロヒゲナガ、イタドリハムシ、ヤナギハムシ、コチャバネセセリ、ベニカミキリ、ミカワオサムシ、キンモンガ、ジャコウアゲハ、ハンミョウ、 花: コツクバネウツギ、クサノオウ、ミヤマナルコユリ、ムラサキサギゴケ、カラスビシャク、モチツツジ、ハリエンジュ、ヤマハタザオ、オヤブジラミ、サルナシ



(観察会のようす)



(ジャケツイバラ)